

第5回都市交通システム海外展開研究会

海外展開した日本型モノレールの現状

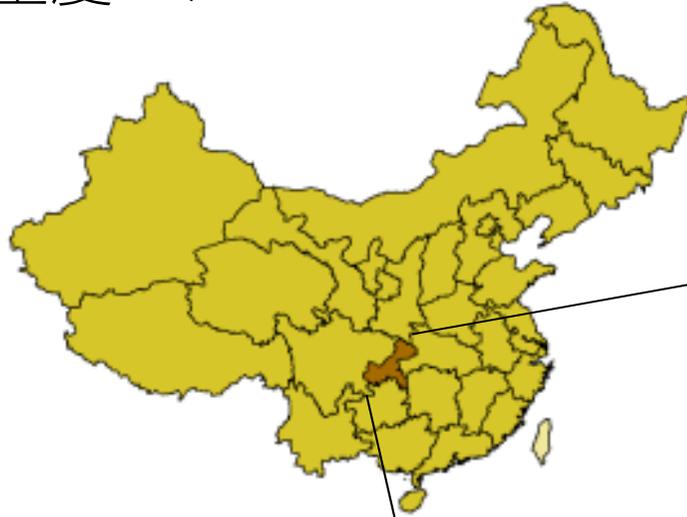
2017年3月

一般社団法人日本モノレール協会

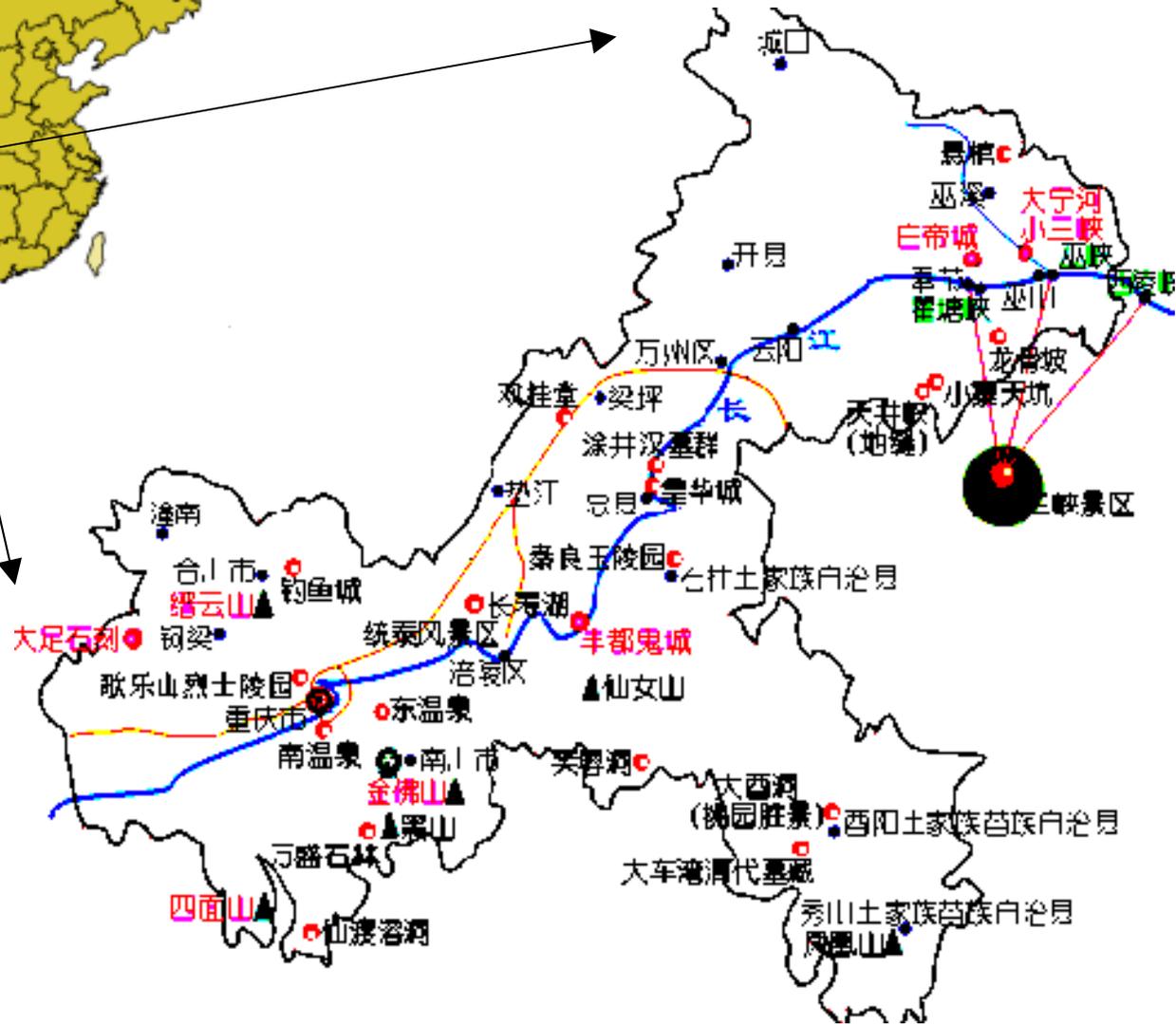
海外で建設された日本型モノレール

	開業年	区間	延長	資金
重慶モノレール 2号線 (2000年 12月着工)	2005年6月 2006年7月 2014年12月	較場口～大堰村 大堰村～新山村 新山村～魚道	13.5km 4.5km <u>13.0km</u> 合計31.0km	事業費約470億円うち、JBIC円借款供与約270億円 自己資金 自己資金
重慶モノレール 3号線 (2007年 4月着工)	2011年9月 2011年12月 2011年12月 2012年12月	両路口～鴛鴦 二塘～両路口 鴛鴦～江北機場 魚道～二塘	17.3km 8.7km 11.8km <u>16.2km</u> 合計56.1km	JBIC事業開発等金融貸付契約(2009年) 227億5千万円限度 上記に含む 自己資金 自己資金
	2016年12月	碧津～拳人壩	11.0km	自己資金
セントーサ モノレール	2007年1月	セントーサ・ステーション～ ビーチ・ステーション	2.1km	自己資金 (セントーサ開発公社)
ドバイ モノレール	2009年4月	ケトウェイ～アトランティス ・アクアベンチャー	5.4km	自己資金 (ナキール社)
大邱モノレール (大邱都市鉄道 3号線)	2015年4月	漆谷慶大病院～ 龍池	23.9km	自己資金 (大邱広域市)

重慶モノレール



中国 重慶市



人口 約3,000万人

面積 82,400km²
(参考: 北海道 83,400km²)

都市鉄道2号線 モノレール
31km、25駅

利用者数 (年)

2005年 600万人

2006年 2,200万人

2015年 9,400万人

最小運転間隔 3分

一編成 4両、6両

都市鉄道3号線 モノレール
56km、39駅

(2016年12月に北伸11km開業)

利用者数 (年)

2011年 11,000万人

2015年 25,000万人

最小運転間隔 2分30秒

一編成 6両

営業時間 6:30 - 22:30







セントーサ・モノレール

2002年国際入札セントーサ開発公社
日本式跨座型モノレール（小型）

2007年12月開業
延長2.1km、4駅、2両×6編成



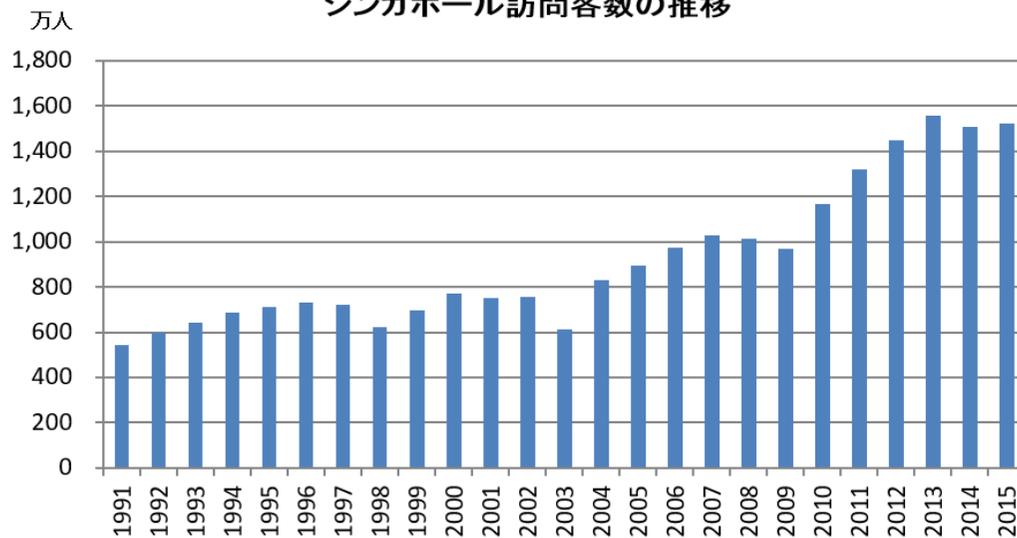
リゾートワールド・センターサ



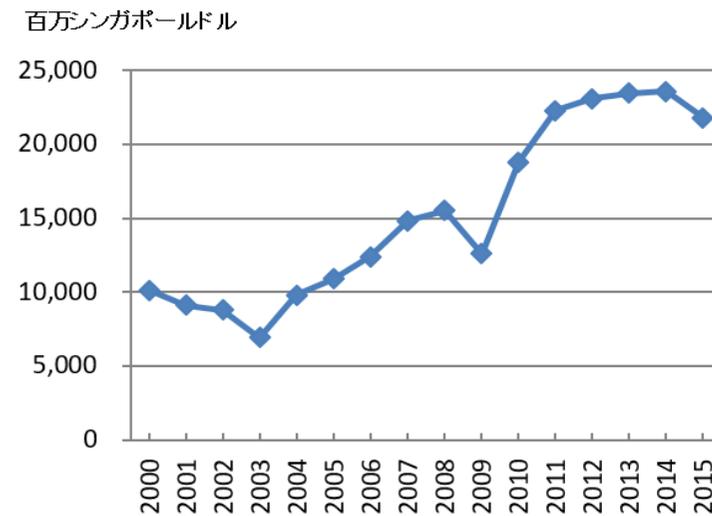
カジノ



シンガポール訪問客数の推移



シンガポールの観光収入の推移

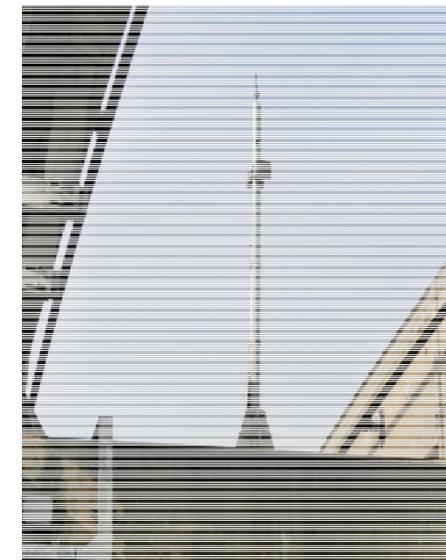


出典：Tourism Statistics Singapore



システムの改良

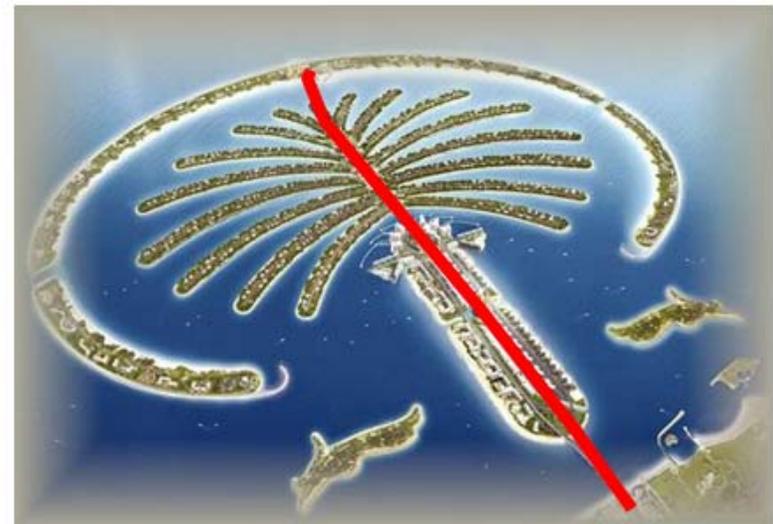
1. CBTC (Communications-Based Train Control)
信号システムの導入
2. CBTC化に伴う関連システムの改修
 - ①「運転の無人化」 (ATOシステムの導入)
 - ②車両1編成追加
所有車両数 6編成→7編成
運行車両数 5編成→6編成
 - ③変電システム (バックアップ用電源) の改修
3. 期待される効果
現状 3,300PPHPD → 4,000PPHPD
4. 将来構想
端末駅線形の改良 現行単線→複線化
路線の延長



ドバイ・モノレール



開業	2009年4月
路線長	5.4km
駅数	4
車両数	3両×4編成



大邱モノレール 2015年4月開業



Bridge between 310Station and 311Station



路線長23.9km、30駅、
28編成(3両一編成)
ATO無人運転

大邱都市鉄道3号線
(モノレール)



区分	号線	営業距離(km)	駅
	1号線	25.9	30
	2号線	31.4	29
	3号線	23.1	30



308Station



Stabling yard